

項目番号	項目名	項目内容等
1	学部等	共通教育
2	学科・課程等	共通教育
3	科目番号	
4	授業科目の区分	
5	対象学生	
6	開講学期	前学期
7	単位数	2
8	授業科目名	英語A
9	授業題目	
10	担当教員名	
11	授業のキーワード	リスニング(Listening)、スピーキング(Speaking)、語彙(Vocabulary)
12	授業の目的・到達目標	<p>仕事や研究で使える実用的な英語コミュニケーション能力の基礎固めを行うことを目的とする。特にコミュニケーションの一番の基本となるリスニングとスピーキングの能力を養成するための基礎トレーニングに焦点を当てる。</p> <p>学生は、この授業を受けることにより、発話の中から必要な情報を聞き取れるリスニング能力を養い、英語での会話の基礎練習が行える。簡単な英語で自分の考えを述べ、意見交換ができるようになる。英語でのコミュニケーションをよりスムーズに行えるために、大学生として身につけるべき基本的な語彙の補強も行える。</p>
13	授業の内容・スケジュール	<p>第1回 Introduction / Unit 1 Universal Languages  第2回 Unit 2 How Students Eat  第3回 Unit 3 Doctors and Patients  第4回 Unit 4 Are You Suffering from Stress?  第5回 Unit 5 Why Do People Travel?  第6回 Unit 6 A Precious Resource  第7回 Unit 7 Toward a Barrier-Free Society  第8回 Unit 8 Cultural Imports  第9回 Unit 9 Volunteerism and Foreign Aid  第10回 Unit 10 Technology and Automation  第11回 Unit 11 Medical Miracles  第12回 Unit 12 What'll You Do with Your Life?  第13回 Unit 13 Who Pays the Tuition?  第14回 Unit 14 Who Will Win the Nobel Prize?  第15回 期末テスト</p> <p>英語能力判定テストが2度実施される予定なので、その場合、いくつかのUnitをまとめて1回で実施することになる。テストの実施日は授業中事前に通知する。</p>
14	受講生にかかわる情報	<p>意欲的に授業中の活動を行い、課題に積極的に取り組む姿勢が求められる。  言語習得には、継続が大切であることを理解して受講する必要がある。</p>
15	受講のルールにかかわる情報	<p>授業中の活動を重視するので出欠および遅刻に関するルールは厳しいので注意すること。4回欠席すると単位取得ができなくなるので気をつけること。30分までの遅刻は1回、60分までの遅刻は2回分の遅刻、60分以上の遅刻は3回の遅刻と見なされる。3回の遅刻は1回の欠席と同じ扱いとなる。授業中の活動はすべて原則として英語で行われる。</p>
16	教材にかかわる情報	Global Ways: Building Better Communication Skills (桐原書店 2005年 1800円)
17	評価にかかわる情報	授業中の活動、課題達成度、小テスト、期末テストなどを総合して評価を行う。
18	オフィスアワー・その他	